



春日部市立桜川小学校 令和3年12月1日発行

# 学校だより 12月号

児童数625人

春日部市大倉496-1 TEL 746-6238 (11/30現在)

桜川小HP <https://schit.net/kasukabe/essakuragawa/>

## 学校教育目標

- 進んで学ぶ子 (かしこく)
- 思いやりのある子 (やさしく)
- 体をきたえよく働く子 (たくましく)

## 地域と共に はぐくむ やさしさと笑顔あふれる 活力ある学校

### 今月の生活目標 身のまわりの整理整とんをしよう

11月も感染症防止策を講じながら、様々な教育活動を実施しました。どの学年の子供たちも真剣な表情で学び合い、高め合っていました。

子供たちが活躍する姿や学習の様子を、日々ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

### あきらめず最後までやり抜く力を

早いもので今年もあと1か月となりました。先月は、地域への校外学習やバスでの社会科見学、持久走大会など行事が多くありましたが、すべてを無事実施することができました。保護者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染状況は大きく改善しましたが、まだしばらくの間は予防対策を講じながらの教育活動となります。今後もご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、先日行いました持久走大会では、多くの保護者の皆様にご来校を賜り、めあてに向かって一生懸命取り組む子供たちの姿を見ていただくことができました。当日の力走もさることながら、当日を迎えるまでの頑張りには目を見張るものがありました。「校長先生、300周走りました。」「500周走りました。」と報告に来る児童が後を絶たず、その姿を見て本当にうれしい限りでした。

あきらめずに最後までやり通す力、これは「非認知能力」と言われる力です。認知能力は、知的な能力であり、いわゆる学力を指します。非認知能力は、忍耐力（粘り強くやり抜く力）や自制心（感情をコントロールする力）、勤勉性（やるべきことをきちんとやる）等を指します。そして、この非認知能力が、学力の向上に大きく影響するのはもちろん、社会に出てからの成功にも大きく左右すると言われています。ある心理学博士は「生きていれば楽しいことや嬉しいことばかりでなく、苦しいことも辛いことも悲しいこともある…ちよっとやそっとのことでは挫けない、心のたくましい子供に育てる。それが子育てや教育の最も大切な目標であろう。」と、子供時代に非認知能力の基礎をつくっておくことの大切さを述べています。周りの大人たちが、失敗しないように、嫌な思いをしないようにと先回りし、お膳立てをしていたのではこの力は育ちません。成功体験をいくら積んでも失敗への耐性は高まりません。失敗する経験、叱られる経験から、それをしっかりと受け止め、自分の成長に変えられるようにすることが大切です。子供たちは日々、大小様々な壁にぶつかります。その時、子供の話を耳を傾け共感しながらも、その壁を乗り越えることは、自分を成長させるための貴重な経験になるよと価値づけてあげる、そして見届け、励まし、努力している姿を褒めていく。学校・家庭において、大人である我々が適切にサポートし、子供たちをたくましく成長させていければと考えております。（校長 加藤大二）

### 6年生10月28・29日 修学旅行



鶴ヶ城 天守閣をバックに  
記念写真&五色沼ハイキング。



白虎隊も学んだ日新館で、  
茶道と座禅体験をしました。



小学校生活最後の持久走大会  
今年のテーマ「全力」



5年生 2日 藍染め体験  
16日トヨタ自動車 リモート見学



4年生 9日 見沼代用水見学



2年生 12日 秋を見つけに  
庄和総合公園へ



1年生  
18日 初めての持久走大会



3年生 9日 書きぞめ練習  
16日 紙すき・川博見学

